

# 福井県都市緑化研究会の活動報告（H28年度）

流 守博

## 要 旨

福井県都市緑化研究会は、平成16年から野田敏秀氏を会長として、街路樹を中心として、生物学的理論や根上り対策、植栽基盤や維持管理、都市景観への貢献といった内容の特別講演会を行い、「福井県緑化マニュアル（街路樹編）」等の説明会も行ってきた。平成28年は、昨年作成した「街路樹維持管理台帳」を各土木で活用すると共に、コミュニケーション分科会と技術分科会を統合して、名古屋市が作成した「街路樹再生指針」の福井県版の検討を行う等の研究活動を中心に勉強会や環境研修についても行った。

**キーワード：** 都市緑化、街路樹、維持管理、街路樹再生

### 1. 活動状況

#### (1) 総会

平成28年6月10日（金）に建設技術研究センターにて総会を行い、役員を選出ならびに平成28年度の活動予定を事務局から報告し承認を得た。また、今年度は2つの分科会（コミュニケーション分科会、技術分科会）を統合して、コミュニケーション・技術分科会とし、昨年まで両方の分科会でやってきた研究内容を統合するような研究活動を行って行くこととした。出席者は40名であった。

#### (2) 勉強会

今年度は1回の勉強会を行い、総会に引き続いて行った。

まずは話題提供として、福井市都市戦略部都市整備室主査の帰山 洋志氏より「県庁前線の景観整備（歩道整備）事業の計画」について発表を行っていただいた。また続いてコミュニケーション分科会主査の道路建設課主任の谷口 直子氏より平成27年度でのコミュニケーション分科会の活動成果報告として「会員への都市緑化に関する意識調査（アンケート）の実施について」と技術分科会主査の（有）南造園代表取締役の南雅 義氏より平成27年度での技術分科会の活動成果報告として「街路樹維持管理システムの構築について」の発表を行った。

### 2. 分科会活動（コミュニケーション・技術分科会）

コミュニケーション・技術分科会では、今年度の活動目標として、昨年までの研究結果を踏まえて総

合的な維持管理等の在り方を検討して行くこととした。メンバーは、昨年度までのメンバーから15名を選び、また各土木事務所にも参加してもらう事とした。主査には、（有）南造園代表取締役の南雅 義氏と県道路建設課主任の谷口 直子氏に引き続きお願いした。

今回の分科会の目標としては、昨年までに行ったアンケートや維持管理システムをより活かしていくために、名古屋市が先行して作成した「街路樹再生指針」を参考として、その福井県版を作成することとした。計5回の分科会を行い、まずは名古屋市の「街路樹再生指針」の内容の確認を行い、その後福井県にふさわしい内容は何かといった観点で議論を進めた。

「街路樹再生指針」の福井県版の作成は1年間では内容が大きすぎるため、2ヶ年で作成する事とし、今年度については、基本的な方針の決定までを行った。

### 3. 環境研修

平成29年2月22日（水）に県立図書館（多目的ホール）において、これまでと同様に（公財）福井県建設技術公社と共同主催で、また（一財）福井県造園協会の後援のもと、「緑で作る都市デザインの可能性」と題して環境研修を行った。

内容としては、特別講演を二人と後半で特別意見交換会を実施した。

まず一人目の講師として、大成建設（株）設計本部 環境デザイン室長の山下 剛史氏により、「大手町

の森 ～新しい都市空間としての自然の森～」と題し特別講演を行っていただいた。

また二人目の講師として、(株) 芸藝 (ウンゲイ) 代表取締役の中西 研太郎氏より、「概念設計からはじめる壁面緑化」～ 花壇の思想・庭園の思想・野原の思想 ～と題し特別講演を行っていただいた。

また後半では、前述の講師二人と、都市緑化研究会からは、会長で福井大学教授の野嶋 慎二氏、副会長で(一社) 福井県造園協会理事の中村 潤一氏、(株) 第一コンサルタントの藤澤 芳一氏の計5名で「福井県での緑で作る都市デザインの可能性」と題して意見交換会を行った。

先の特別講演の内容を含めて、都市空間の中での緑化の意義や今後の展開等について議論が行われた。

8 2名の参加者があり、ほぼ 100%に近い参加者が内容を十分に理解でき、とても役立ったといったアンケート結果となった。



写真-1 「環境研修」の様子



写真-2 山下 剛史氏の特別講演の様子



写真-3 中西 研太郎氏の特別講演の様子



写真-4 特別意見交換会の様子

しかしながら、後半の意見交換会については、通常のパネルディスカッションという形式をとらず、あえて自由に意見交換をしてもらおうと思ったが、アンケート結果では、「意見が広がり過ぎてまとまりが無かった」等の指摘をいただいた。研修を企画するに当たっての難しさを痛感した。

## 5. まとめ

平成28年度の活動のまとめとしては、次のような事が上げられる。

- ・コミュニケーション・技術分科会では、これまでの研究活動成果を活かし、相互の意見を踏まえて「街路樹再生計画」(福井県版)の作成に着手した。今後の街路樹の課題解決ならびに県内での素晴らしい並木道育成の基本計画となることを期待している。

来年度は、「街路樹再生計画」(福井県版)を作成したいと考えている。

